

内部監査における 新技術(AI、IoT等)への対応

～AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか～

□日時：2023年11月28日(火) 10:00～16:00(5H)

□講師：東洋大学 工業技術研究所 客員研究員
島田 裕次氏
(公認内部監査人・公認情報システム監査人)

□会場：本会関西本部内 専用教室(下記案内図参照)
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主催：一般社団法人日本経営協会

□開催にあたって

AIやIoTなどの新技術の急速な進歩・普及と相まって、内部監査においても、これらの新技術への対応が求められています。例えば、AIの導入は、自動運転をはじめとする業務支援や医療支援など様々な分野で実施または計画されており、ビジネスへの影響も大きくなっています。その結果、経営者の新技術に対する関心が高まり、それが事業活動に貢献するかどうかを点検・評価する内部監査の役割も重要になっています。

本講座では、新技術に係るリスクを内部監査人がどのように把握し、それに対するコントロール(対策)を点検・評価すればよいのかを説明いたします。リスクの変化が激しい時代ではアジャイル型監査や継続的監査といった監査手法も有効です。確立したチェックリストがない状況ですが、チェックリスト(案)も提示しながら解説いたします。

講師紹介

東洋大学 工業技術研究所 客員研究員
島田 裕次氏
(公認内部監査人・公認情報システム監査人)

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年～2022年東洋大学総合情報学部教授、2022年より現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師(科目:コンピュータ会計論)。博士(工学)、公認内部監査人(CIA)、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者(経済産業省)、公認情報システム監査人(CISA)、公認情報セキュリティマネージャー(CISM)。

【著書】『はじめての内部監査』(日科技連出版社)、『DX時代の内部監査手法』(共著 同文館出版)『情報セキュリティの基本』(日本実業出版社)、『リスク図による情報セキュリティ監査の実践』(同文館出版)、『内部監査の実践ガイド』(編著 日科技連出版社)、『よくわかるシステム監査の実務解説(第3版)』(同文館出版)、『内部監査入門』(翔泳社)、『COBIT実践ガイドブック』(日経BP社)、『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』(編著 日科技連出版社)、他多数。

■ 申込要領 ■

参加料(1名につき)：

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	3,000円	33,000円
一般	35,000円	3,500円	38,500円

申込について：

裏面の申込方法をご確認のうえ、WEBにてお申込みください。

キャンセルについて：

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。

なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他：

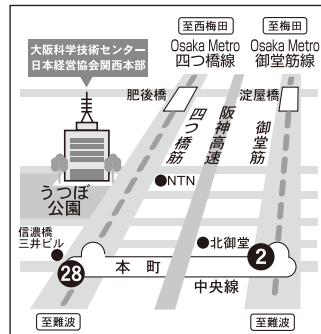
- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

お申込・お問合せ先：一般社団法人日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>

TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

□プログラム□

1. はじめに

- ・ 内部監査の目的、リスクマネジメントとの関係

2. リスクの把握方法

- ・ 経営との関係の重視
- ・ 過去リスクと未来リスクの分析
- ・ 全体の鳥瞰
- ・ AI、IoT、RPAのリスク

3. 監査手法と監査技法

- ・ リモート監査
- ・ アジャイル型監査
- ・ 継続的監査
- ・ 質問、閲覧、観察、再実施などの監査技法と実務上の留意点

4. 監査の進め方

- ・ AIを対象にした監査チェックリスト
- ・ IoTを対象にした監査チェックリスト
- ・ RPAを対象にした監査チェックリスト

5. 内部監査での新技術の活用

- ・ CAATs(コンピュータ支援監査技法)の活用法
- ・ AI、IoT、RPAの活用可能性

6. おわりに

- ・ 過去型から未来型の監査へ
- ・ 原因分析型から目的分析型の監査へ

※最新の情報を反映するため、内容が一部変更になる場合があります。

(3)

□申込方法□

本会ホームページからお申込みください。

WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ
<https://www.noma.or.jp>よりアクセス
[NOMA セミナー] or [日本経営協会] で検索
- 2 「セミナー／講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます
- 7 お申込み完了

お申込受領後、請求書と参加券をご連絡担当者までお送りいたします。

- ・ 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- ・ 開催5日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
- ・ 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。